

Road to Doctor

プレ医ゼミin弘前

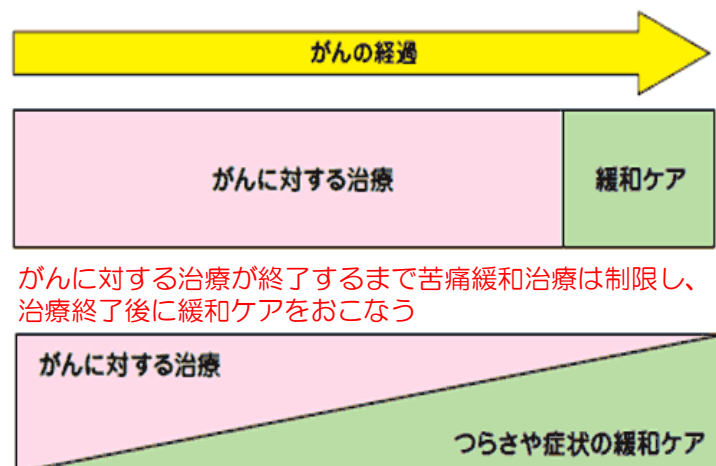
皆さん、こんにちは！タイトルから、「医ゼミってなんだらう」と思った方も多いと思います。そこで、初めに医ゼミとは何かについて簡単に説明しましょう。医ゼミは全国医学生ゼミナールの略で、全国各地にある医学部、医療系大学や専門学校の学生が毎年夏の8月に集まって、学習会や交流会を行う企画です。今年はなんと8月10～12日に弘前で開催されます！！興味のある方はぜひいらしてくださいね！

そんな医ゼミの前段階として、6月9～10日にプレ医ゼミ in弘前が開催されました。テーマは『生きるための緩和ケア』。全国の医療系学生が弘前に集い、緩和ケアへの理解を深めました。そこでプレ医ゼミで学んだことを皆さんに報告させていただきます。

皆さんは「緩和ケア」と聞いて何を思い浮かべるでしょうか？終末期の患者さん？それとも「死」のイメージ？下の図を見てください。

がんの患者さんを例にとってみますと、これまでの考え方ではがんに対する治療の見込みがなくなった後に緩和ケアを行っていたため、緩和ケア＝終末期という誤解が生じていたと思われます。

がんの治療と緩和ケアの関係
(A:これまでの考え方 B:新しい考え方)



【医ゼミin弘前タイムスケジュール】

	8/10(金)	8/11(土)	8/12(日)
9:00		分科会①②	分科会③④
13:00	開会式 基調報告 学生発表①	昼休み 学生発表②③	昼休み 学生発表④
15:00	全体企画講演会 竹内了氏	全体企画講演会	SGD③
17:15	SGD①	SGD②	閉会式
19:00	交流会	交流会	Beer Party ～19:30終了～

※企画や時間は一部変更される可能性があります。

【医ゼミ公式ライン LINE@】

61 弘前に向けて、さまざまな情報を発信していきます。ぜひどなたでも登録してみてください！



生じていたと思われます。

それに対し新しい考え方では、がんに対する治療と並行して緩和ケアを初期の段階から行っています。がん治療の3つの目的は、①治療 ②延命 ③QOLの維持向上です。がんが進行するにつれて①・②の目標がだんだんと達成することが難しくなります。その中で、緩和ケアは特に「痛み」に目を向けた医療で、どの段階でも変わらずQOLの維持向上を図ることができます。緩和ケアと聞くと他の治療とは別物、特殊だというイメージを抱きがちですが、QOLの維持向上を図るための一つの手段であり、特別なものではないのだということを知りました。また、医療全体において行われるべき当然のことであると知ることができました。

このように、医ゼミでは学生たちだけで主体的に自分たちの学びを深めています！その学びは将来私たちが医療者になったときに必ず生きてくるものだと思います。「よい医療者になりたい」という志を持った全国の仲間に出会える医ゼミ。皆さんも参加してみませんか？(弘前大学医学部1年 F・Mさん)

皆さんこんにちは！いよいよ夏ですね！！連日真夏日で寝苦しい夜が続きますが、エアコンに当たりすぎると次の日、『体がだるい』なんてことないですか？朝までエアコンをつけっぱなしだと、この症状がしやすいそうです。タイマーセットして寝はじめだけ使用しましょう。また、湯船につかるのも効果的らしいですよ(*^.*^)

さて今月は、「プレ医ゼミin弘前(6/9～10)」と「第1回MIN-IREN FESTIVAL(みんフェス)」の2本立て報告です！「プレ医ゼミ」は、「第61回全国医学生ゼミナール(医ゼミ)」がありその宣伝も兼ねて弘前大学の学生に書いていただきました。「みんフェス」は、初めて参加する新入生向けに「医学生をつどい」が生まれ変わった企画です。

引き続き、医学生や医師に対する質問も募集していますので、ハガキにてお寄せください。また、住所が変わった、今後購読を希望しないという方も、お手数ですが同封のハガキにてお知らせくださるようお願いいたします。

みんフェス

青森民医連が加盟する全日本民医連は6/16(土)～17(日)の2日間、今年4月に医学部へ入学された方たちを対象に医学生新歓企画として「MIN-IREN FESTIVAL」(略して、みんフェス)を静岡県・熱海市で開催しました。全国から、医学生73人含む151人が参加しました。(青森県は学生4人、職員3人が参加。)

初めて会う人たちの緊張をほぐすため、はじめに熱海駅周辺から会場まで歩いてスタンプラリーを行い、7人チームで班を結成して交流を深め、初対面のメンバーと打ち解けることができました。

その後、会場に入り学習講演は、「“日本の貧困”と私たちができること」と題して講演。日本の貧困の現状が報告され、弱い人たちの立場に立って、将来医療従事者となる立場として社会を「変える」ことを意識してほしいとの訴えがありました。講演が終わった後は参加者全員で大交流会。あつという間の2時間で、終わった後もお部屋で交流を続けました。

二日目は「民医連ミニ学習会」、「民医連あつめ(全員参加型企画)」、「奨学生発表」の3つの企画を行いました。

「民医連ミニ学習会」は、日本全国の医学部(医学科)に在籍する医学生が対象です。返還義務がありますが、卒業後一定期間、青森民医連加盟の医療機関に勤務してもらうことで返還が免除されます。

「高卒生奨学金制度」は、高校卒業後、医学部(医学科)への合格に向けて勉強している30歳までの方が対象です。貸与期間は3年まで。返還義務がありますが、医学部(医学科)合格後、医学生奨学金制度に移行し、青森民医連加盟の医療機関に勤務すると返還が免除されます。

青森民医連奨学金制度 ◆医学生奨学金制度

	特別奨学金	一般奨学金
入学金貸与	あり(1年次のみ)	なし
奨学金貸与額	20万円以内/月	10万円以内/月
定員	各学年5名	なし
返還免除の条件	卒業時に返還義務が生じますが青森民医連に勤務すると返還が免除されます	貸与期間の1.0倍

◆高卒生奨学金制度

	コース①	コース②
貸与額	10万円/月	20万円/月

青森県民主医療機関連合会 医師医学生課 (青森民医連 弘前事務所)
〒036-8203 弘前市本町95丸二ビル1F 【9:00～17:00】
お問い合わせメールアドレス: aomin-igakusei@kensei-hp.com
0172-34-5455
http://www.kensei-hp.com